

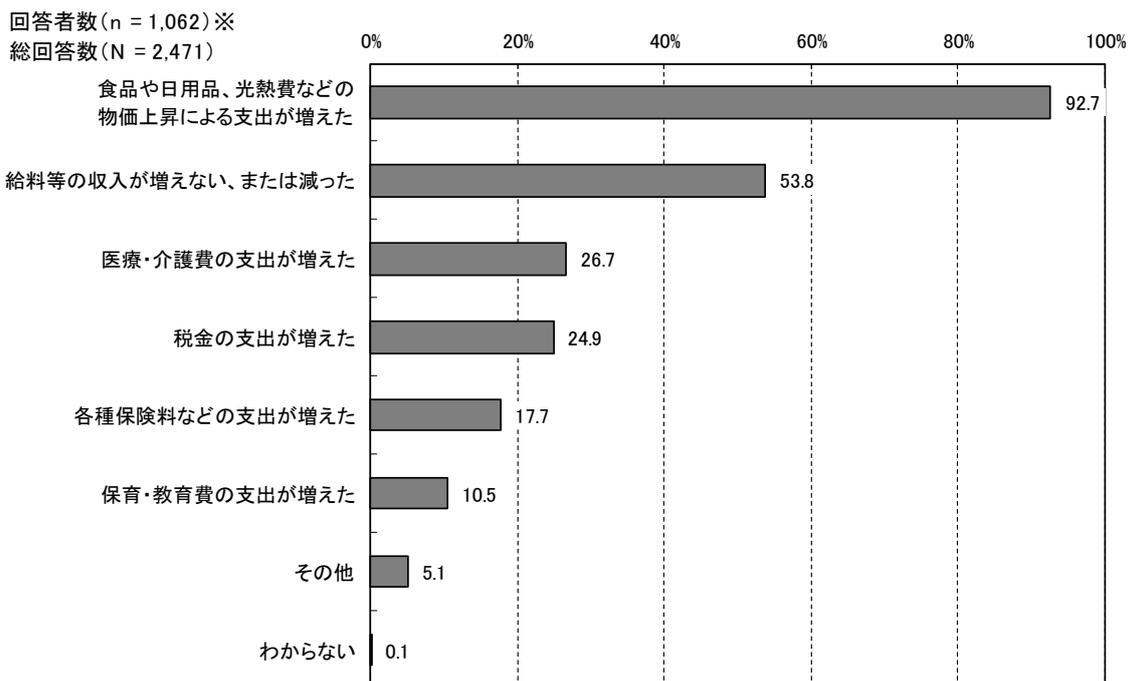
問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。
(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が92.7%と最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」(53.8%)、「医療・介護費の支出が増えた」(26.7%)の順となっている。

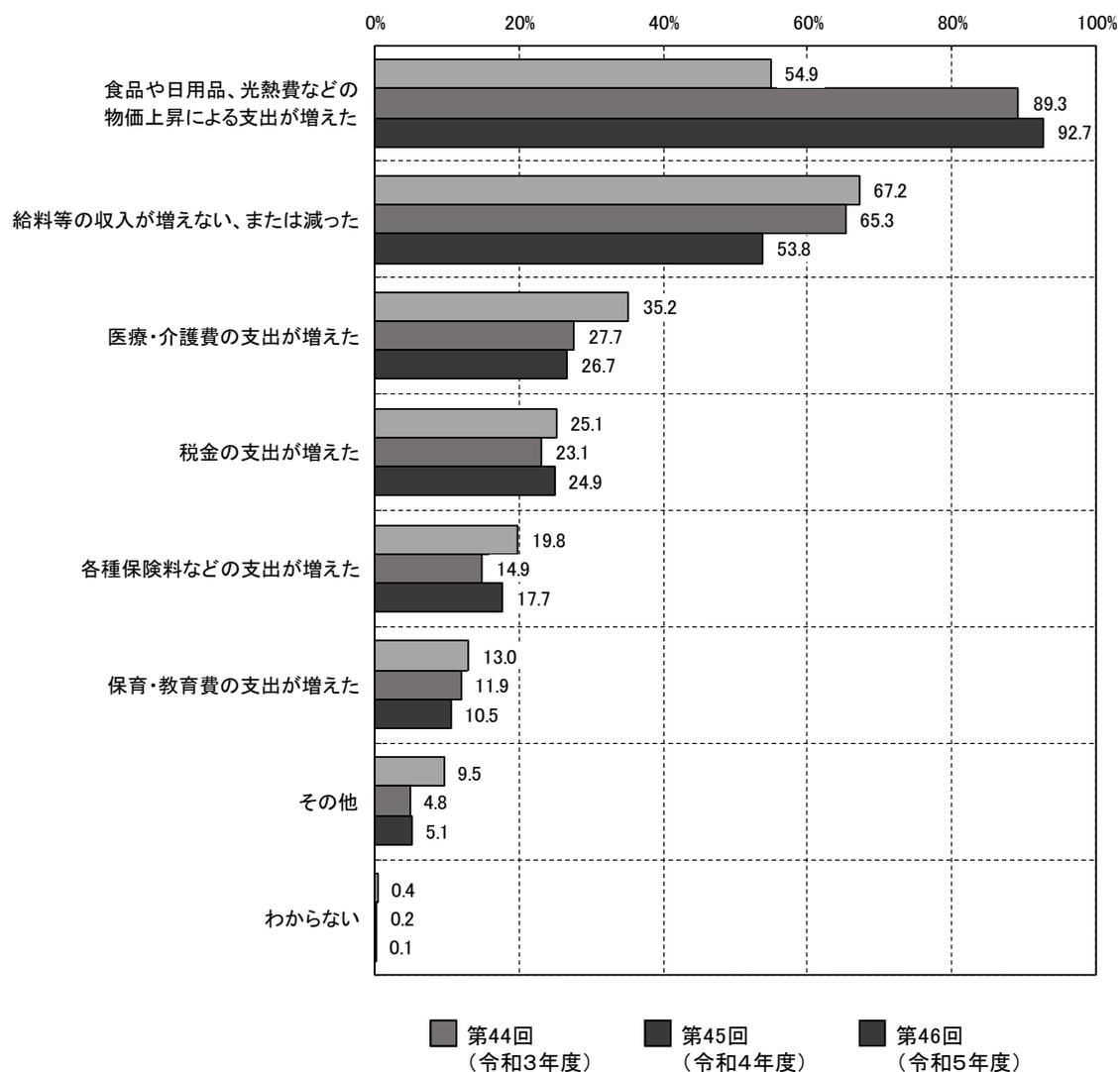
図1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

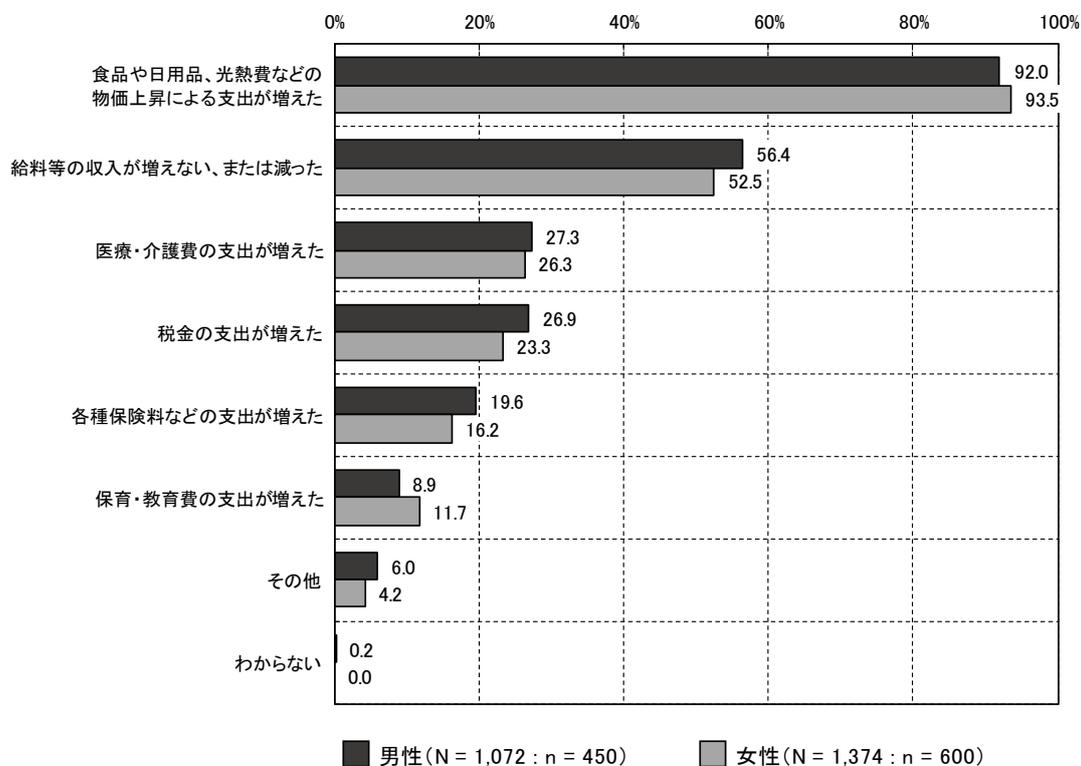
前々回・前回比較（図 1-2-2）で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が年々高くなっている。一方、「給料等の収入が増えない、または減った」は、前回に比べて11.5ポイント減少している。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）で見ると、男女ともに「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、男性が 92.0%、女性が 93.5%となっている。「給料等の収入が増えない、または減った」では、男性が女性よりも 3.9 ポイント高くなっている。

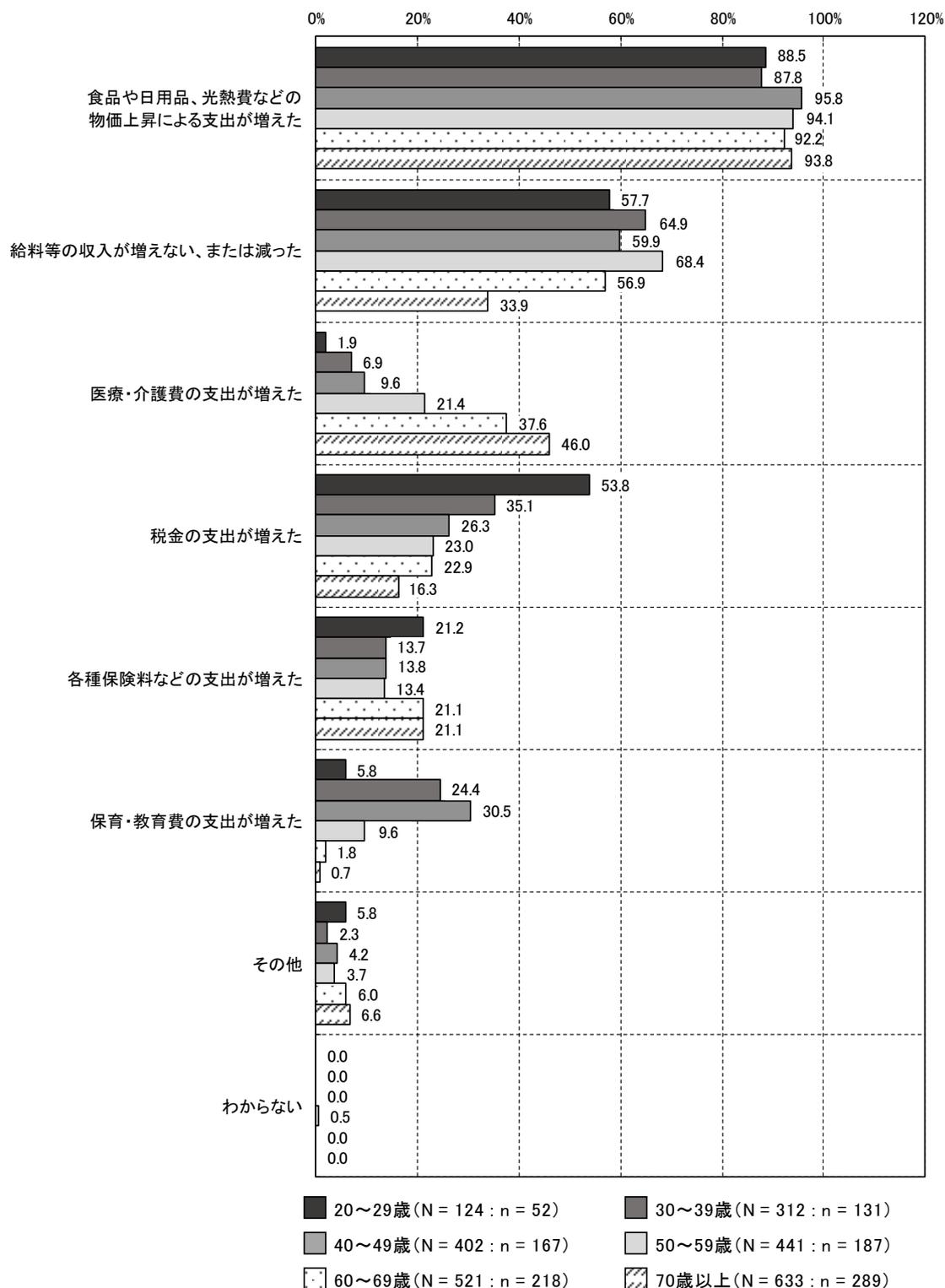
図 1-2-3 【性別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-4）で見ると、いずれの年代においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。また、「医療・介護費の支出が増えた」は年代があがるにつれて高くなっており、「税金の支出が増えた」は年代がさがるにつれて高くなっている。

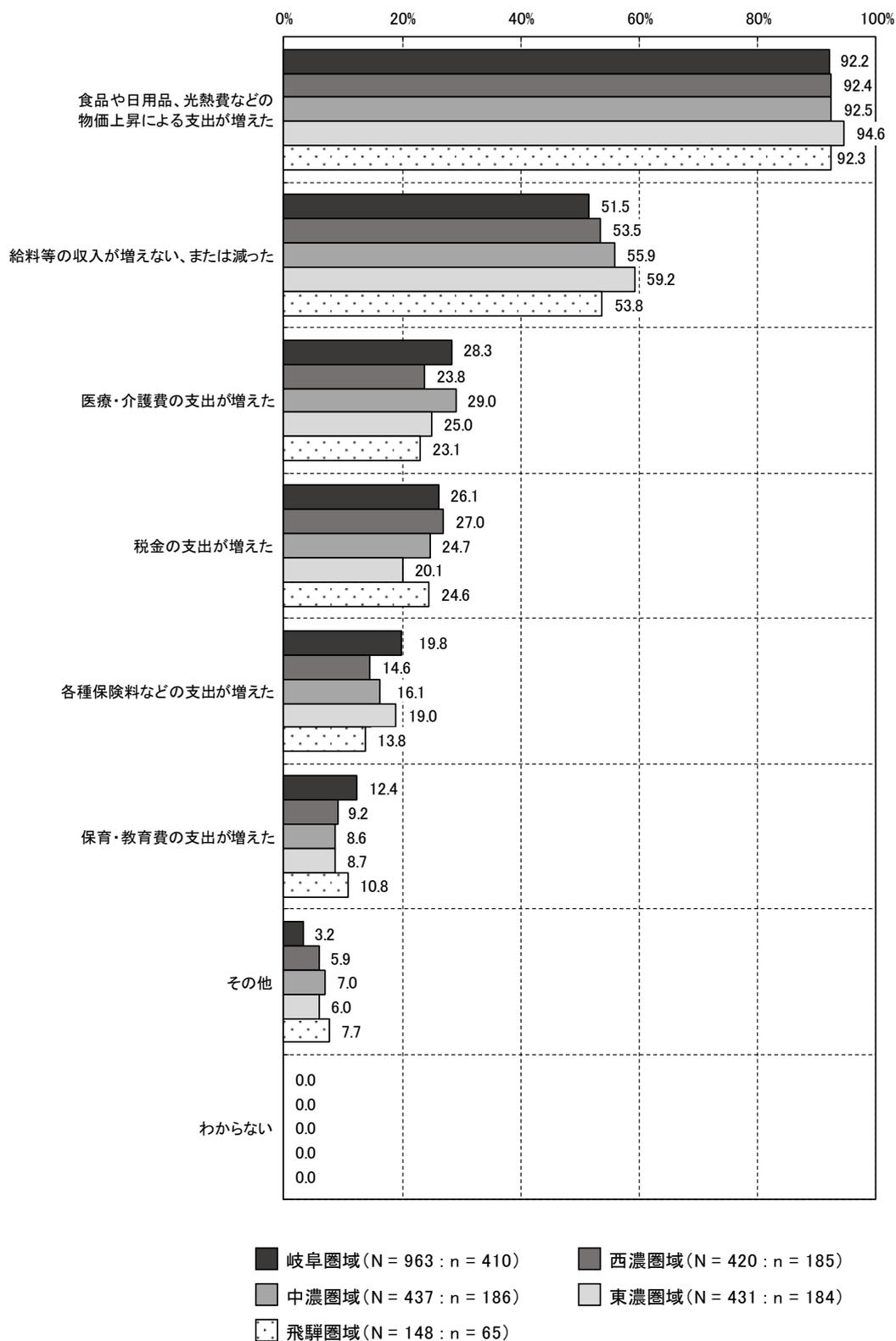
図 1-2-4 【年代別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」の順となっている。

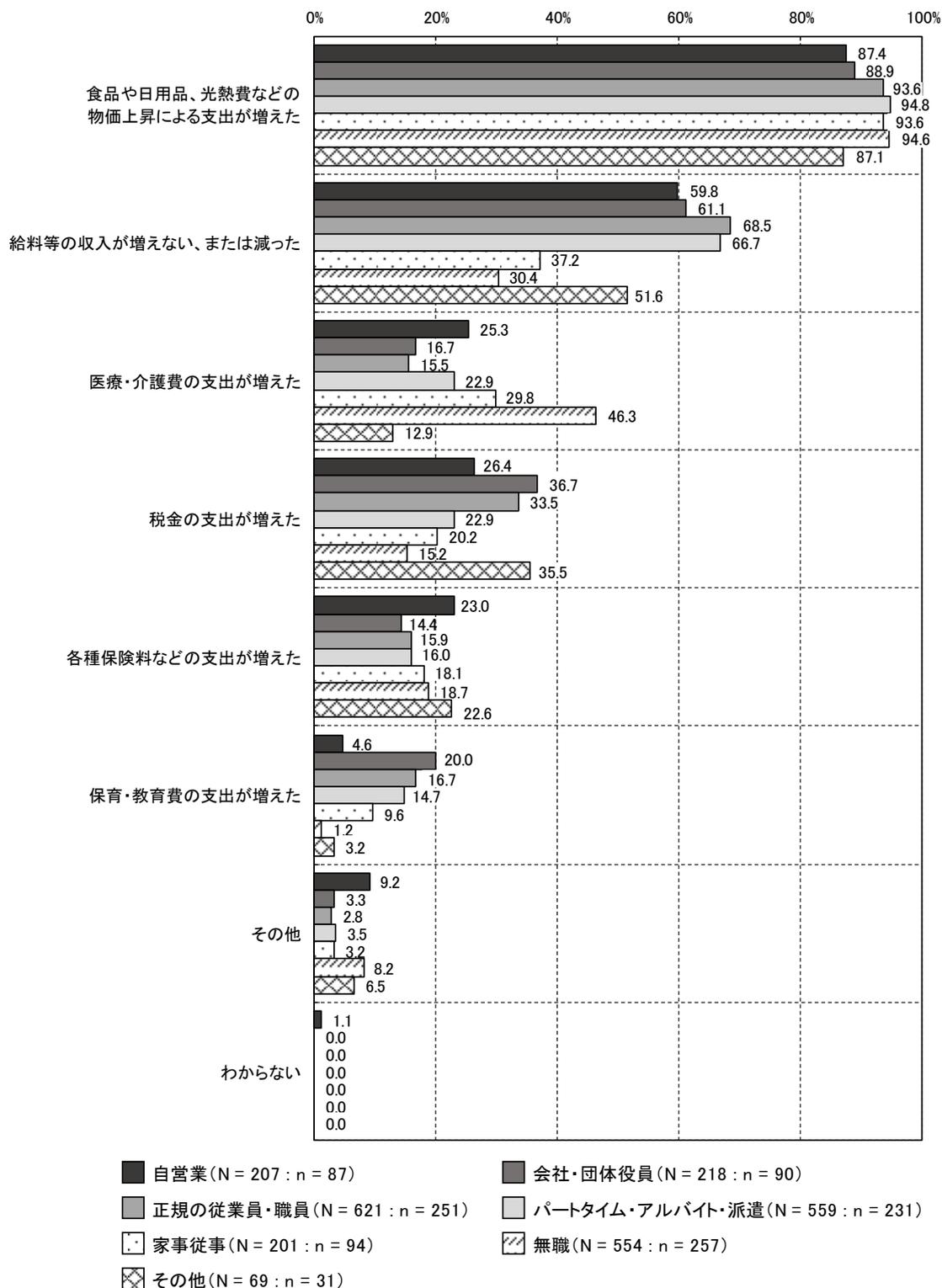
図 1-2-5 【居住圏域別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、いずれの職業においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣では「給料等の収入が増えない、または減った」が他の職業に比べて高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ その他には、自由業、学生を含む。
 ※ N=総回答数 n=回答者数